

# 低学年の授業改善はこう行う

国  
語  
1年生9月

観点に沿ったメモと話し合いで、  
150字程度の長さの文章を書かせる

糸魚川市立木浦小学校 教諭 白石 真美



## 【私の主張】

平成23年度4年生問題では、「時間内に指定された文字数(210字~270字)で文章を記述する力」「段落を意識して記述する力」「資料を活用して書く力」の定着を求めていました。4年生で「時間内に210字~270字で文章を記述する力」を身に付けさせるためには、まず、1年生で「150字程度の文章を記述する力」を身に付けさせる必要があると考えました。ただ、「書きましょう」では、低学年は何を書いてよいのか分かりません。そこで、観点に沿ったメモを取らせること、メモの内容を基に話し合いをさせてから書かせることが大切だと考えます。

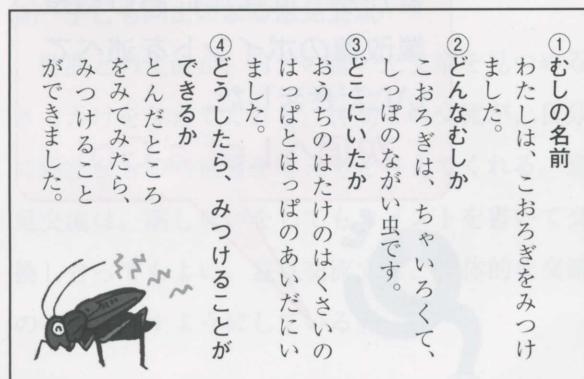
## 【授業改善の具体】

題材 1年「みいつけた」(光村図書出版)

○身の回りで見つけた生き物についての紹介文を書く。

○150字程度を目指す。

## 1 観点を示したカードに記述させます



## 2 互いにカードの内容を発表・質問し合わせます

カードのメモをそのまままとめただけでは、150字程度の作文にはなりません。そこで、互いに発表させ、質問し合わせます。こうすることで、

メモがより具体的になったり、新たな観点をもつたりします。

### 〈話し合い〉

C1：おすですか？ めすですか？

C2：分かりません。

C3：おしりのところのひげみたいなものがながいのがめすで、みじかいのがおすだよ。

C1：なくのは、おすだけだよ。めすは、なかないよ。○○さんがみつけたこおろぎは、めすかな。

C2：おしえてくれて、ありがとう。

C4：ぼくもこおろぎをみつけました。くろくて、あしにぎざぎざがあって、かつこよかったです。

## 3 150字を目標に作文にまとめさせます

### 〔作文〕

わたしは、こおろぎをみつけました。こおろぎのからだのいろは、くろやちやいろです。あしには、ぎざぎざがあります。おしりのところのひげみたいなものがながいのが、めすです。なくのは、おすだがいのが、めすです。なくのは、おすだけです。おうちのはたけのはくさいのはつぱとはつぱのあいだにいました。とんだところをじつとみてみたら、みつけることができました。

このように、子どもは、話し合った内容をメモに付け加えて、作文を書くのです。